

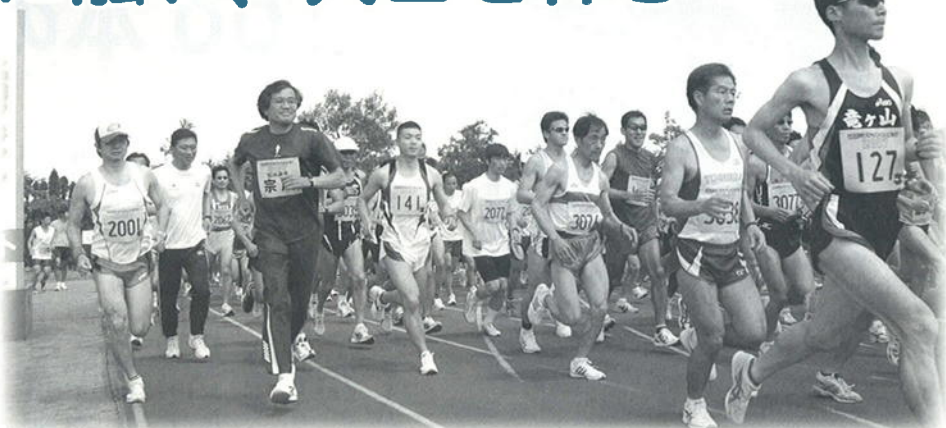
日本海の潮風に触れ、大山を仰ぎ 千人が快走

名和マラソンフェスタ2007



1.7km ジョギングペアのスタート。10か月の赤ちゃんもベビーカーで初参加

来を決めたことや、「暑い大会に向け暑い中で練習しても、疲労が蓄積されるだけ。涼しいところで練習してベストコンディションで大会にのぞんで優勝できたと選手生活について話をされました。」



招待選手の宗茂さんも参加したハーフマラソンのスタートの様子

快晴の5月20日(日)、名和マラソンフェスタが名和スポーツランド発着で行われ、県内外から1028人の選手が参加しました。ハーフマラソン、ウォーキングなど体力に依り、16部門に分かれ、涼しく、風も弱い絶好のコンディションの中、それぞれの走りを楽しみました。

招待選手は宗茂さん。前日は保健福祉センターなどで講演会もあり、小学4年で走る楽しさに気付き、将来を決めたことや、「暑い大会に向け暑い中で練習しても、疲労が蓄積されるだけ。涼しいところで練習してベストコンディションで大会にのぞんで優勝できたと選手生活について話をされました。」



沿道の声援を受け御来屋商店街を走る選手

大山の自然の恵みをそばで味わう

山菜てんぷらそばフェスタ



山菜てんぷらそばを求め長蛇の列が



「そば打ち同好会」と「山菜の会」のメンバーは、来場者と会話を弾ませながら、忙しく対応に追われていました。

毎年春の恒例行事になっている「山菜てんぷらそばフェスタ」が、5月5日(祝)なかやま温泉駐車場にあるテメキュラハウスで行われました。

快晴に恵まれたこの日は、手打ちそばと地元で取れた山菜のおいしさを味わおうというお客さんで、長蛇の列ができていました。

このイベントを主催する

伝統ずもう。はっつけよい

名和小学校で校内ずもう大会が、5月18日(金)に開かれ、全校児童が参加し熱戦を繰り広げました。「ドラゴンはやと」「かつちょべ丸」などそれぞれ自分が付けたしこ名を呼ばれると、土俵に立ち、「はっつけよい、のこった」のかけ声で力いっぱい相手にぶつかっていました。

このすもう大会は旧庄内小学校で昭和43年から続いている伝統行事で、昨年名和小学校に統合後も、西校舎で行われていました。

東校舎に通っていた児童の保護者は「初めての行事で、楽しく応援しました。みんな元氣いっぱい取り組みでした」と感想を話していました。



6年生の決勝。力強い取り組みです